

No. 75

2016. 8. 30発行



ちよっ娘

# からうら



はじめての子ども議会 — ② ▶ ③

ネット配信はじまる — ④

勝浦病院移転改築の課題は — ⑦ ▶ ⑮  
(一般質問)

若い力で! (ヤングファーマー) — ⑰

# 子ども議会

選挙の投票権が18歳に引き下げられたのを機会に、町政に関する子どもたちの関心を高めるため、暮らしや町の未来について語る子ども会議を6月29日に開催しました。子どもたちは、事前にテーマを決めて学習し、発表練習も行なったため内容の濃い議会となりました。

## 横瀬小学校

### “空からサンタがやってくる”



#### 相原優理菜 議員

- パラグライダーをしている人と協力して、クリスマスに“空からサンタがやってくる”というイベントをしては
- 勝浦マルシェを開き、美味しい食べ物を提供しては
- 町民体育祭に子どもが自由に参加できる競技を



#### 寒山拓海 議員

- 遊具を備えた公園の整備を
- 自然を生かした冒険心あふれるアスレチックを作っては



#### 井上ひかる 議長



#### 町長の答弁

パラグライダーのアイデアはすばらしく、スカイスポーツクラブと検討したい。新しい公園の整備は財政的に難しいので、今ある施設を有効利用してもらいたい。

## 生比奈小学校



#### 麻植菜都美 議長

#### 松下菜美 議員

- 自然や食、イベントなど町の魅力を満載したパンフレットを作ってはそれに町の商品券を付け、多くの人に来てもらうようにすれば
- ホームページでもっと町のP・Rを

#### 近藤友陽 議員

- 子どもからお年寄りまでが、一緒に集える屋根付きの施設を作っては
- ふるさとを大切にしようとする心がめばえるイベントを



#### 町長の答弁

昨年12月に、観光やイベント、宿泊施設を載せたパンフレットを作成した。商品券についても、既に実施しているものもある。ホームページでのPRは、もっと充実させる必要がある。

# 特集

# 町の未来を託す!



## 勝浦中学校

### 寺尾 颯真 議員

- 「町づくり条例」を制定し、次の項目を実施してほしい
- ① LEDの外灯を増やし、夜道の安全を確保しては
- ② 中学生のボランティアを募り、老人ホームの手伝いをしては  
また、コミュニティバスを運行し、お年寄りの交通手段の確保を
- ③ 防災対策として、備蓄倉庫に生活必需品の確保はできているのか
- ④ 中学生が町政に参加する機会を。例えば、町体育祭と一緒に企画・運営しては



石田有莉香 議長

### 椎野 綜太 議員

- 農業の後継者不足の対策は
- 少子高齢化に対する今後の政策見通しは
- ビッグひなまつりなどのイベントで、もっと町を盛り上げては
- ごみ箱の増設と花づくりで、町的美観向上を



### 町長の答弁

町内の外灯は殆どLED化されている。  
ボランティア活動に取り組む意欲には敬意を表したい。  
町民体育祭を始め、各イベントの企画に中学生の意見を取り入れたい。  
農業の後継者不足対策として、アグリサポートクラブの設立や収穫お助け  
隊事業を計画している。

## 子ども議会を開催して

多くの子もたちから、議会のしくみや町行政の実情が分かり、本当に役立ったとの感想がありました。

議会としても、将来を担う子どもたちが真剣に町の課題について、学習していることに感動しました。

子ども議会は、来年度からも続けて行く予定です。



# 若あゆ会議

(7月)

## 一般会計補正予算

一般会計補正予算

2880万円

## 主なもの

活性化協会への補助金

673万円

横瀬小学校バリアフリー

化、リフトを設置

1241万円



横瀬小学校の階段にリフトを設置



もっと広げられ交流の輪

## 工事請負契約の承認

子育て交流支援センター

(沼江) 改築

6477万円

## 質疑

松下議員

**問** 子育て支援センターの開放日を増やし、フルに利用できないか。

**答** 大西福祉課長

週3日の休館日があるが、運営方法は今後利用しやすいように考えていく。

美馬議員

**問** 周辺の高齢者や子供たちにも開放しては。

**答** 大西福祉課長

高齢者への開放はできないが、就学前の小さな子供を中心に保護者間の交流を図ってほしい。

**問** 地域包括ケア病床を計画しているが期待する効果は何か。

**答** 山田病院事務局長

集中的にリハビリを行うことで、住み慣れた自宅で生活できることを目指している。

## 意見書を可決

・業者夫人の働きを認めない差別的税制、所得税法第56条の廃止を求める意見書

賛成議員

仙才、松下、美馬、籾、森本、井出、大西

反対議員 麻植、松田

・森林・林業政策の推進を求める意見書

「山村振興法」の基

本理念を踏まえ、新たな政策の確立や予算の確保等を国に求める。

賛成議員 全員

## 「勝浦病院改築特別委員会」を設置

設置

移転改築する勝浦病院のあり方を検討するため特別委員会を設置。委員長に麻植秀樹議員、副委員長に松田貴志議員を互選。

## 条例改正

ひとり親世帯等の医療費助成の条例  
・病院での窓口支払いが不要になった

## インターネット

### 配信始まる

先月開催された「子ども議会」と「若あゆ会議」の一般質問の模様を、録画編集した動画を配信しています。

パソコンかスマートフォンが必要になりますが、日頃、議場で練り広げられる真剣な議論をぜひご覧ください。

「勝浦町議会」で検索、議会ホームページに進み、下部にある「議会中継」をクリックして下さい。また、左記QRコードからも入れます。



勝浦町議会「議会中継」へのQRコード

# 6月議会

観光、交流の拠点作りとして、勝浦町地域活性化センター（仮称）整備のため用地を取得。

## 一般会計補正予算

- ・ 2445万円
- ・ 交通量が多い町道石原家谷中山線改良事業
- ・ 職員のリオ五輪派遣のため、職員等の旅費に関する条例の一部を改正

## 質疑

松田議員

**問** 活性化センター（仮称）の用地購入費が計上されているが、既存建物の扱いはどうなるのか。

**答** 海川産業交流課長 所有者から無償譲渡の申し出を受けている。



無償譲渡される建物

## 1年間の議会日程を決定

28年		29年	
7月(若あゆ会議)	12・25・26・27日	1月	19日
8月	18日	2月	15日
9月	6・7・8・15日	3月(ひな会議)	7・8・9・10・21・22・23日
10月	20日	4月	25日
11月(みかん会議)	8・21・22・24日	5月	16日
12月	16日	6月	16日

# 4月議会

町民の声に対する質問

麻植議員

**問** 星谷運動公園でイベントを企画していたが、使用許可が出なかったのはなぜか。

**答** 河野教育委員会事務局長 管理規則に基づいて指導し許可した。

仙才議員

**問** 坂本第1分団消防操法大会への支援強化を。

**答** 野上参事 支援金の交付を早期に支給し、訓練に必要な備品などは対応する。



機敏な動作でみごと3位入賞

## 視察をどう活かすか

### 防災対策特別委員会

視察先 和歌山県 那智勝浦町

「自分の命は自分で守る」

東日本大震災から5年が過ぎ、震災直後の危機意識が薄らいでいく中、本町議会においては「災害対策本部設置要綱」を策定し、災害時における「議会」「議員」の役割を明文化した。

そこで大地震や豪雨災害への備えを再確認するため、平成23年の「紀伊半島大水害」からの復旧、復興の過程で見えてきた課題や対策を共有しようと那智勝浦町を訪問した。砂防ダムの整備や急傾斜地崩壊対策事業の推進も必要だが、ハザードマップや避難経路の共有、リアルタイムでわかりやすい土砂災害情報の発信など、備えるべき課題が浮き彫りになった。

### 広報常任委員会

視察先 神奈川県大磯町、山梨県昭和町

「伝える広報」より「伝わる広報」に

広報コンクールで25年度に入賞したが、その後入賞できずにいる。さらなる紙面充実のために全国優秀賞を受賞している両町に視察に行つた。

独自の編集マニュアルを作り、随所にわかりやすい紙面への工夫され、何よりも**活発な議会活動が根底**にあつてこそ受賞だと思つた。特に連続入賞している昭和町は長年にわたり山梨学院大学と「議員と学生のワークショップ」や「学生からの政策提案」などを実施しており、本町議会も今後取り組むべき課題である。

# 一般質問

各議員の動画中継はそれぞれ掲載ページのQRコードから見られます

# 町の課題に切り込む!

質問議員	質問事項	ページ
松下一一	1、子育て支援センター、更なる有効活用を 2、地域活性化協会の役割は 3、果樹試験場の跡地は 4、農業振興の優遇策は 5、災害廃棄物の処理は	7
森本 守	1、中山・横瀬簡易水道、老朽化・濁り対策は 2、一斉清掃時の補償は 3、地震への備えは	8
美馬友子	1、勝浦病院移転改築、病院が抱えている課題は何か 2、障がい児の放課後デイは 3、マダニ対策	9
籾 公一	1、中山・横瀬簡易水道、濁り対策を早急に 2、地域活性化センター(仮称)、多目的に利用すべき 3、県道「横瀬橋東側」改良、副町長は使命感を持って	10
松田貴志	1、勝浦町行財政改革総合推進計画、思いや狙いは 2、人材育成、人事評価制度の運用状況は 3、職員提案制度 4、財政健全化への取り組みは 5、事業評価制度の導入を	11
井出美智子	1、給付型奨学金の創設を 2、生比奈地区に大規模な宅地造成を 3、女性農業委員の登用を 4、防犯灯の設置を	12
仙才 守	1、ケーブルテレビ更改工事、 4K・8K放送への対応は大丈夫か 2、機種指定について 3、新方式は適切だったのか 4、ヘリポートの整備を	13
麻植秀樹	1、勝浦川の堤防は大丈夫か 2、森林作業道の促進を	14
大西一司	1、かつうら創生、総合戦略の取り組み状況は 2、勝浦病院、改築の基本構想は 3、広域ごみ処理場建設、本町への誘致を検討しては	15

## 会議予定日

9月6日~8日、15日 10月20日 11月8日、21日~24日 12月16日



松下一一 議員

# 子育て支援センター

## 更なる有効活用を

子ども・子育て会議で協議（福祉課長）

**問** 新しい子育て支援センターの建設が始まる。より多くの人が利用し

交流を深めるための施設にすべきである。今までのプログラム以外に新しく取り入れるのは何か。

また、開館日を増やしたり、利用時間の変更、閉館後の駐車場や運動場の開放などもっと利用しやすいようにすべきでは。

**答** 大西福祉課長

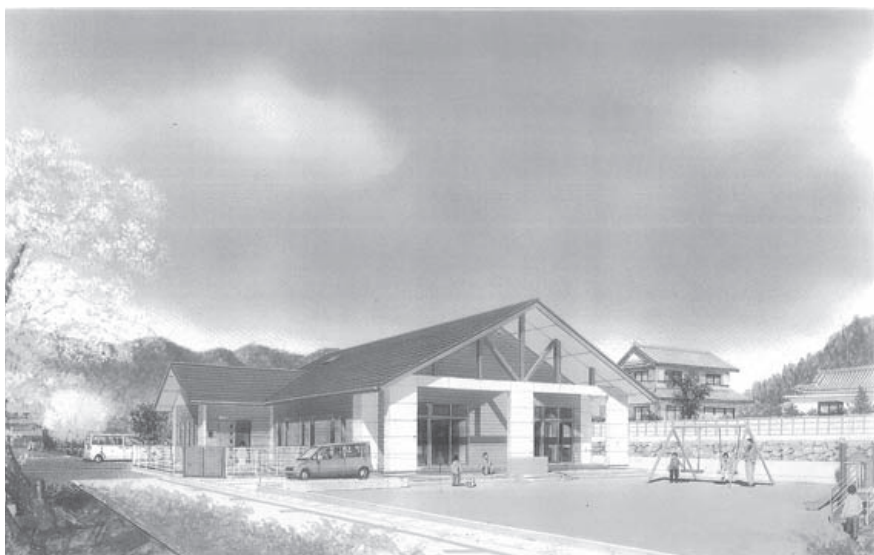
プログラムなどについては、はぐくみクラブを中心に協議していく。子ども・子育て会議でも意見を聞きながら新しいメニューを考え、完成までに結論を出す。

### 地域活性化協会の役割は

**問** 地域活性化協会の目標は高く掲げているが、「道の駅」との役割分担をどうしていくのか。

**答** 海川産業交流課長

「道の駅」は観光や道路情報の発信が主な業務で、地域活性化協会は着地型観光をめざし、最終的には移住につなげるのが目的である。



子育て支援センター（完成予想図）

### 果樹試験場の跡地は

#### 果樹試験場の跡地は

**問** 果樹試験場の跡地利用について、有効利用できるように再検討してはどうか。その上で県に譲渡を申し込む考えはないのか。

**答** 中田町長

検討委員会で協議を重ねてきたが、取得経費や維持管理費が多額となるため取得を断念した。今後、大きな状況変化があれば再検討する。

### 農業振興の優遇策は

**問** 耕作放棄地対策として農地の集約が必要であるが、農業委員会や中間管理機構を通じて、農地の貸借、売買を行なう場合に優遇策はあるのか。

**答** 海川産業交流課長

中間管理機構を通じた農地の貸借では貸し手に助成がある。

農地売買支援事業では、売り手は農地法の手続きや登記事務などが不要で、譲渡所得の特別控除が800万円受けられる。

### 災害廃棄物の処理は

**問** 災害に見舞われた際、復旧の第一歩は災害廃棄物の処理である。処理計画はどうなっているのか。

**答** 節住民課長

23年度に策定した処理計画を見直し、今年度中に種類や規模、量などを考慮した新しい計画をまとめたい。

### その他の質問

- 固定資産税の評価基準
- 獣肉処理施設の建設は
- 「犬返り」地区の掘削は
- 西岡地区の県道改良は



# 中山・横瀬簡易水道

## 老朽化・濁り対策は

### 水道料金と並行し議論（建設課長）



森本 守 議員

一般質問

**問** 町外から若者を呼びこもうとしている時に、水道が濁るのでは来てもらえない。住民からの苦情はないのか。

**答** 松本簡易水道対策室長 濁りについては一部住民から苦情を聞いている。中山・横瀬簡易水道は将来的に改修及び改良が必要な水道施設で、町の事業計画に盛り込んでいる。

**問** 漏水対策として要所にバルブを付けたが、その効果は。また、ろ過装置が機能していないのではないのか。

**答** 松本簡易水道対策室長 4割程度の漏水がある。濾過装置は現在では使用されてはいない。

**問** 取水口に濁りが入らないように出来ないか。

**答** 柳沢建設課長 水源地を変更するか、施設改良が必要になる。水道料金と並行して議論していく。

## 一斉清掃時の

### 補償は

**問** 一斉清掃でケガをした事例はないのか。

**答** 節住民課長 今年度についてはその様な事例はない。



節住民課長



気をつけてよ～！

**問** 危険な所で草刈りをしている。万一に備えて傷害保険に加入しては

**答** 野上参事 全国町村会の損害賠償保険制度に加入している。ただ、本人の著しい「過失」によって生じた傷害については、その時の状況により、本人負担が発生する。草刈り機等の使用までは保険がおりるが、急傾斜地での草刈りやチェーンソーの使用などは管理体制が問題になる。十分安全を確保した上での実施が必要となる。

## 地震への備えは

**問** 勝浦町に活断層はないのか。

**答** 野上参事 県の公表によると、町内には、はっきりとした活断層はない。

**問** 家具の転倒防止金具の取付はどうなっているのか。

**答** 野上参事 以前、国の緊急雇用対策で実施したが、現在は制度がないので実施していない。耐震改修補助事業では、1・5 m以上の高さの家具はすべて固定することになっている。

## その他の質問

- 県道新浜勝浦線について
- 専門学校進路について





# 勝浦病院移転改築

## 病院が抱えている課題は何か

### 医師不足や施設の老朽化など（病院事務局長）

**問** 病院改築基本構想を策定していくことになっているが、病院が抱えている様々な課題は何か。

**答** 山田病院事務局長  
改革プランの原案が完成したところである。課題は3つ

- ① 医師不足
- ② 施設の老朽化
- ③ 住民の町外医療施設の利用が多い

**問** 住民の協力を必要とする大きな事業である。早く情報の公開を。

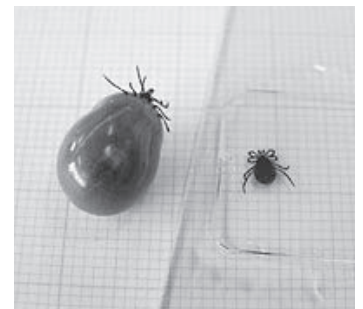
**答** 中田町長  
検討委員会を立ち上げて多くの意見を聞き素晴らしい病院にしたい。

**問** どんな風に住民の声を聞いていくのか。

**答** 笠木地方創生推進室長  
職員の意見をまとめている段階であり、今後は8月から3回程度の検討会を開催する予定。地元や、勝浦病院のことを熱心に考えてくれていいる方に委員を要請したい。

**問** 医師確保は未だにできていない。推進室を立ち上げただけで確保はできるのか。

**答** 中田町長  
待遇面も考慮し、若い



吸血後と吸血前のマダニの大きさの比較  
(危険生物 MANIAXより)

内科医を確保するため、私自ら行動する。  
医師が確保できれば、関係者の意識も変わる。

### 障がい児の放課後デイは

**問** 障がい児の放課後の居場所づくりは必要な支援である。一番支援を必要としている人が小松島市や阿南市に通わなければならないのか。このままで良いのか。

**答** 大西福祉課長  
利用者のニーズ調査は行っているが、児童発達支援管理者の確保が難航している。開設する施設の予定も立たない。



ダニは危険  
ダニにかまれないことが重要!

**答** 中田町長  
町内に利用できる施設が欲しいという声は聞いている。

実現に向けて運営体制や経費の問題など対応を検討する。

### マダニ対策

**問** マダニ被害の勝浦町での現状は。

**答** 山田病院事務局長  
町内で抗体の保有率は4%で、マダニに噛まれ、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)として報告したのは2例あり、その1例は重症化した。

**問** 予防策の徹底や、噛まれた時の対策を周知すべきではないか。

**答** 大西福祉課長  
8月広報や健康相談等で予防法を周知する。

**答** 海川産業交流課長  
猟友会や農業者の講習会でも周知していきたい。

■その他の質問  
○夏休みにラジオ体操の一斉放送を



美馬友子 議員



## 中山・横瀬簡易水道

### 濁り対策を早急に

#### 料金の値上げが必要（建設課長）



部 公一 議員

一般質問

**問** 以前から、中山・横瀬簡易水道は大雨後の濁りがひどく、多くの住民から改善が求められている。

特に子育て中の若い世代からは、健康面での不安が大きい。

横瀬地区で宅地造成が進められているが、飲み水が一番であり、早急な対策が必要である。

濁り対策を促進するには、水道組合として、どのような条件をクリアしなければならないか。

**答** 柳沢建設課長

町で起債して事業をはじめるので、その償還のために水道料金の値上げが必要になる。

**問** る過装置を改良する場合、事業経費と必要な工期は。

**答** 柳沢建設課長

いろいろな工法があるが、一般的な装置とすれば、経費は約2億円。工期は設計などの準備

が済めば、着手から1年ほどで完成できる。

**問** 水道料金の値上げ幅はどの位になるのか。

**答** 柳沢建設課長

上限で川北水道料金並みと考えられる。

**問** 組合内で改修への合意形成ができた場合、町としての取り組みは。

**答** 中田町長

関係者の理解が十分できたら、財源の検討をはじめとして協議を進めていく。



使われていない過施設

## 地域活性化センター(仮称)

### 多目的に利用すべき

県道「横瀬橋東側」改良

副町長は

使命感を持って

**問** 県道「横瀬橋東側」は危険箇所にもかかわらず、なかなか改修が進まない。

副町長は特命として事業が進展するよう、県との折衝にあたってもらいたいが見解は。

**答** 藪下副町長

私も通行してみても危険性は実感している。叱咤激励と受け止め、県に強く要望していきたい。

■その他の質問

○かつうらみらい創生事業に期待

**問** 生名地区の旧店舗跡を改修して、活性化センターを建設する予定になっているが、町の情報発信や移住、交流のためだけでなく、多目的に利用できるよう、役場全体で検討すべきでは。

**答** 藪下副町長

今後、設計委託をプロポーザル方式（業者の提案型）にし、住民が利用しやすくなるよう役場全体で検討していく。





松田貴志 議員

## 思いや狙いは

さらなるサービス向上をめざす (町長)

一般質問

**問** 今年の4月に計画を策定したが思いや狙いは。

**答** 中田町長

以前より人件費の削減、業務委託等を推進してきた。

また、機構改革や地区懇談会、出前講座などで住民ニーズの把握に努め、一定の成果が見られたが、さらなる住民サービス向上のため計画を策定した。

### 人材育成

**人事評価制度の運用状況は**

**問** 4月から新たな人事評価制度を導入しているが、運用状況は。

**答** 野上参事

昨年度に1回研修を実施。今年度に評価目標設定研修を行った。秋までに評価シートを作成したい。

**問** 人事にどう反映させるのか。

**答** 野上参事

任用、給与、分限など人事管理の基礎となるが、評価者、被評価者双方に深い理解が必要である。

### 職員提案制度

**問** 職員提案制度の運用実績と今後の課題は。

**答** 野上参事

23年度3件、25年度2件、26年度5件の提案があった。内容は企業誘致、基金の運用、公民館事業の活性化、県公営住宅誘致等であったが事業化はされていない。今後は評価結果を提案者にフィードバックし、採用する場合には協議しながら事業を進める必要がある。

## 財政健全化への取り組みは

**問** 超過勤務の現状と具体的な削減方法は。

**答** 野上参事

26年度は1万4300時間、27年度は1万4300時間で、一人当たり149

時間の超過勤務をしている。庁舎耐震化の部署移動や総合戦略関連の新規事業等の影響があった。

水曜日をノー残業デーに設定し、定時での退庁を促しているが成果は薄い。庁舎全体での業務の平準化や既存事業の見直し、廃止等が必要である。

## 事業評価制度の導入を

**問** 財政健全化に向け断の努力が必要だが、より緻密な検証、反映を行うには新たな仕組みづくりが必要と考える。

県で取り組んでいる自己点検シートを勝浦町で導入できないか。

**答** 藪下副町長

政策的事業をスクラップ・アンド・ビルドする際の有効な手立てと考えるが、職員への過度な負担が生じないよう配慮も必要である。どのような仕組みが町の実情に合っているか検討したい。

■その他の質問  
○常備消防化の推進



水曜日...ノー残業デーの午後6時頃





井出美智子 議員

# 給付型奨学金の創設を 調査研究をする必要がある (町長)

**問** やる気があって、勉強したいのに、経済的に進学をあきらめている子供たちのために、町独自の返さなくてもいい奨学金を創ったらどうか。

**答** 椎野教育長

今年度から勝浦町奨学金返済助成金交付制度ができています。勝浦町在住の人に27年度からの返済に対して、3分の1を助成している。

**問** 医師や看護師などを目指す人には、東京都で実施しているような「決められた年限を町で働くことを条件に全額奨学金を免除する」などの思い切った対応をしてはどうか。

**答** 県下の市町村で、給付型奨学金を作っているところはありますか。

**答** 藪下副町長  
まだ、県下ではない。

**答** 中田町長  
人材確保のためには必

要なことと考えている。制度設計をはじめ、様々な調査研究をしていきたい。

## 生比奈地区に 大規模な 宅地造成を

**問** 若い世代にとって、結婚後、共働きで働き続けるには、親世代の応援が必要となる。できるだけ近いところに家を建てたいが、町内では適当な土地がない。

**答** 通勤、通学に便利な生比奈地区に大規模な宅地造成をしてはどうか。県内他の自治体で宅地開発の施策を講じているところはありますか。

**答** 藪下副町長  
現時点では、小規模の宅地造成にとどまっている。

**問** 開発を始めるにあたっては、どの程度希望が

あるか、アンケートを取ってはどうか。

**答** 中田町長

横瀬地区で造成中の宅地の利用状況を見てから考えたい。

## 女性農業委員の 登用を

**問** 県内の女性農業委員で構成する団体から要請があったが、その内容は

**答** 海川産業交流課長  
2人以上の女性の登用をとの要請があった。

**問** 町長の考えはどうか。

**答** 中田町長  
2017年の改選期に考えたい。



## 防犯灯の設置を

**問** 繰り返し防犯灯の設置を要望しているが、実現していない。移設で対応するという方針を見直したらどうか。

**答** 野上参事

経費節減のためにLED化を図っているが、まだ40か所残っている。順次変更していく予定である。あくまで移設を基本としたい。



いつ設置されるのか※ 防犯灯のない町道

## ケーブルテレビ更改工事

### 4K・8K放送への対応は大丈夫か

調査して報告する(参事)

**問** 老朽化対策のための工事だったとのことだが、どこが老朽化していたのか。

**答** 野上参事

セットトップボックス(以下STB)の苦情が多かった。

**問** 約4億円の工事費の内、最もコスト比率が高いONU(光回線終端装置)は、まだ使えたのではないか。

**答** 野上参事

業者に確認したが、現状では把握できていない。

### 機種指定について

ついて

**問** 3月議会で「公正な競争を阻害した恐れがある」と指摘したが、「同等以上の機種という条件を付けたので十分競争原理が働いた」との答弁だった。

この答弁は事実には反していたのではないか。

**答** 野上参事

機種を指定していたこととは仕様書で確認した。これが不適切だったか否かは判断がつかねる。

### 新方式は適切だったのか

**問** 新方式(PON方式)が導入されたが、不適切な方式だったのではないか。

また、「4K、8Kの新しいテレビにも対応できる新方式を採用」との説明を受け、更改工事の契約を議会で承認した。

ところが仕様書に4K、8Kについての記載がない。4K、8K放送に対応できるのか。

**答** 野上参事

現状では明確に答弁できる状態ではない。議会同席の上、業者に説明を求める。

### ヘリポートの整備を

**問** 県内の整備状況は。また本町の状況はどうなっているか。

**答** 野上参事

県内のヘリポートの指定場所は約170カ所ある。

本町で大型ヘリコプターが離発着できるのは星谷運動公園だけである。そのほかに勝浦病院の駐車場で小型ヘリの離発着が可能である。

救急についてはヘリコプターではないが、小松島市の日赤病院からドクターカーが利用できる。

**問** 今後の整備計画は。

**答** 野上参事

今のところ新たなヘリポートの整備は考えていない。

坂本地区が孤立した場合、小型ヘリであれば、運送会社等の駐車場を利用することにより、離発着できるのではないか。



仙才 守 議員



ヘリポートの増設が望まれる



麻植秀樹 議員

# 勝浦川の堤防は大丈夫か 増水時には監視が必要（建設課長）

**問** 毎年台風シーズンになると心配になる。今の状態で勝浦川の堤防は大丈夫か。

**答** 柳沢建設課長  
大水が出た場合には影響があるので、常に注意しパトロールを行っている。

**問** 中角南岸堤防は補強したが、その後は心配ないのか。

**答** 柳沢建設課長  
増水時には畑の方に漏水があり、23年に災害復旧で矢板を90m入れた。布団かこの方に水の流れが多くなっており、心配している。

**答** 柳沢建設課長  
パトロールにより、水の中に砂利とか濁りがあるときには水防活動を行う。さらに県に補強を要望していく。

**答** 中田町長  
河川堤防の強化や浸水地区の抜本的対策を行い、災害に強いまちづくりの実現に向けて、関係機関に要望していく。

**問** 監視カメラを増設してはどうか。

庁舎内でモニタリングできれば、速やかな指示や避難につながるのでは。

**答** 野上参事

有効ではあるが、最終判断として、現場確認、ダム放流情報、気象予測情報などをもとに発令することになっているので、星谷橋のモニターで十分と考えている。

## 森林作業道の促進を

**問** 本町で伐採可能な森林面積はどれぐらいあるのか。

**答** 海川産業交流課長  
森林面積は4719 ha



整備が進んでいる森林作業道

であり、杉・松の伐採可能面積は2510 haで総面積の約53%にあたる。

**問** 森林作業道の延長は。

**答** 海川産業交流課長  
過去5年間の実績として、立川地区15.2 km、星谷2.2 kmで合計17.4 kmを施工している。

**問** まだまだ作業道が足りないと思うが。

**答** 海川産業交流課長  
作業道を開設するには5 haの受益が必要で、伐材などの搬出作業時に必要な道である。

**問** 鳥獣害防止ネットを作業道に張ってはどうか。

**答** 海川産業交流課長  
今年度、生比奈財産区所有森林内に約4 kmを開設予定である。

**答** 海川産業交流課長  
農地との境界に設置すれば効果はある。

本年度、鳥獣被害対策交付金250万円を活用し、坂本地区1200 m、与川内地区1400 mのネット柵を計画している。



## かつうら創生

### 総合戦略の取り組み状況は

子育て支援センターを建設（地方創生推進室長）



大西一司 議員

一般質問

**問** 人口減少が進む本町だが、27年度スタートのかつうら創生事業で確実に成果を出さなければ目的は達成できない。これまでの取り組み状況を示せ。

**答** 笠木地方創生推進室長 27年度の事業実績として移住・定住対策事業や新たな交流による活性化事業を実施した。28年度では子育て支援センター工事費など約1億3700万円の予算を計上している。

今後はアグリサポート事業や学校現場におけるICT化、消防常備化に向けた取り組みを計画している。

**問** 学校のICT化に向けての取り組み計画は。

**答** 河野教育委員会事務局長 28年度調査研究を行う。29年度にはプロジェクトチームを編成し、基本計画・実施計画を進め、30年度に機器の導入を予定している。



先進機器を導入（東みよし町）

### 勝浦病院 改築の 基本構想は

**問** 町長はこれまで改築には慎重だったが、ここに来て改築を目指すことになった。その要因と改築の基本構想は。

**答** 中田町長 これまででは耐震診断で安全基準をクリアしており、財政等の状況からも改築には慎重にならざるを得なかった。

### 広域ごみ処理場建設 本町への誘致を 検討しては

しかし、現在の病院は医療法の旧基準での建築のため、病室内スペースや廊下幅員など患者や医療スタッフの療養及び診療環境が良好とは言えない。改修では環境改善が出来ないということから移転改築する決断をした。今後は改築検討委員会を立ち上げ、基本構想を策定していく。

**答** 中田町長 6月30日に事務レベルの協議があった。今後は関係市町で月に1〜2回協議を行い、今年中に一定の方向性を出す予定だ。

**問** 本町への誘致を検討してはどうか。賦課金の減免や周辺整備が進むなど色々な恩典があり、かつうら創生の起爆剤になると思うが。

**答** 中田町長 協議会はまだ立ち上がっていない。建設用地を含めた運用面など、対応を慎重に進めたい。

**問** 徳島市で新市長が誕生した。その後、広域での協議開催などの動きはあるのか。

■その他の質問  
○活性化センター建設について  
○県道改良について





# 勝浦農業の宝

## ヤングファーマーを紹介♪

- ① 就農しようと考えたきっかけは
- ② 今後の展望は
- ③ 農業を志す若者にエールを

岡田 晃さん (27歳) 星谷



成人式のスピーチで「将来は、勝浦でみかんを作ります。」と会場を大きく沸かせた彼が、ついに後継者デビュー。両親とみかんを2.5ヘクタール、ハウスでわさびを20アール栽培。

- ① 小さい時からみかんを作ろうと考えていた。そのために、農大に進学し、農機具会社にも就職した。
- ② 今は、仕事を覚えることが第一。その中で、自分のやり方を見つけていく。
- ③ 農業は、やっただけ返ってくるから、やりがいがあっておもしろい。みんながもっと就農して、多くの仲間と切磋琢磨したい。



- ① 自然が多い場所で、夫婦共に自営業ができる場所を探していた時、「四国移住フェア」で勝浦町を紹介された。
- ② みかん作りをしながら、来春にはゲストハウスを開きたい。
- ③ 農業経験のない私たちを温かく受け入れてくれる環境があるので、一緒にチャレンジしてみませんか。

昨年まで栽培していたみかん園を借り、夫婦で就農している。空き家をゲストハウスにできるよう、自力で改修している。



### 東京から移住

石川 翔さん (27歳)  
美 緒さん (29歳)

### 表紙写真

子どもたちがはじめて  
議場にやってきた



8月も終わりに近づきましたが、今年の夏は異常な程に暑い日が続き、熱中症や体調管理に苦労されたことと思います。

さて議会では「開かれた議会」の取り組みの一環として、7月若あゆ会議よりインターネット配信（一般質問の録画）を始めました。選挙権が18歳に引き下げられたのを機会に、6月には子ども会議が初めて開かれ、子どもたちの素直な意見や堂々とした姿に感動しました。

その様子もネット配信され、パソコンやスマートフォンから視聴可能となっていますので、ぜひご覧ください。（友子）

### 編集後記

